



# 感染性胃腸炎

細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、ウイルスによるものが多く、冬から春先にかけて流行します。感染力が強く、集団生活の中では特に流行することがあり注意が必要です。



## 接触感染

病原体が付着した手で口に触れること  
で感染する

- 便や嘔吐物処理した後、手についたウイルスが口から体内へ入る
- 感染者の手指に付着したウイルスが、ドアノブやタオルなどを介して口に入る

など

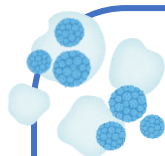


## 経口感染

汚染された食品を食べることで感染する

- ウイルスに汚染された食品(カキなどの2枚貝)を生、または十分に加熱しないで食べる
- 感染者が調理することでウイルスが付着し、その食品を食べる

など



## 飛沫感染・塵埃感染

ウイルスを含んだ飛沫が飛び感染する

- 下痢や嘔吐物が飛び散り、飛沫が口から入る
- 残った嘔吐や便が乾燥してチリやほこりとなって空気中を漂い、それが口から入る

など

感染後、24～48時間で  
吐き気、嘔吐、発熱、腹痛、下痢など

感染するとウイルスは1週間程度、  
便とともに排出される



## 感染を広げないために

### ①手洗い

トイレの後や、調理・食事の前など、石けんで手を洗う

### ②洗浄・消毒

次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効

### ③嘔吐物・便の処理

使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は必ず石けんで十分に手を洗う